令和４年度　日本大学スポーツ科学部　個人研究費　研究実績報告書

所属： スポーツ科学部　競技スポーツ学科
資格： 准教授
氏名： 谷口　郁生

研究課題名	コロナ禍における大学初年次教育における情報環境の再構築について
研究目的及び研究概要	研究目的及び研究概要： 大学における学生の学習状況は、この３年間の新型コロナウィルス対策により、在宅でのオンライン学修へと大きくシフトし、対面式の従来の授業様式もオンライン学修と一部併用しながらのハイブリッド形式がほとんどの状況である。従前の対面式授業も再開されたが、このような状況下では、初年次教育として実施している基本的な情報教育科目であるコンピュータ・情報リテラシーにおいて授業の円滑な展開にとって必要な、学生に提供すべき情報環境を、既存のキャンパス内のコンピュータ教室や学内ネットワークのみならず、学生個人の有すべき情報環境に関しても再検討しなければならない。また情報環境の再検討は、初年次教育だけでなく、2年生以降のゼミや実習を含む専門教育科目においても喫緊の課題である。 そこで、まずは現状の大学で提供している情報環境についての再検証し、今後備えるべき環境との調和をどのように図っていくのかを再検討する。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	本研究では現状の大学で提供している情報環境についての再検証する。本キャンパスで現在提供している情報環境は、コンピュータ教室設置のパソコンのOSイメージが仮想化され、学内のコンピュータ教室と同じデスクトップ環境を学外からも、パソコンや、スマートフォン、タブレットなどの携帯端末などの種類を選ばずに利用出来るようになっている。ただし、利用するためには事前に学内ネットワークへのVPN接続が必要だったり、端末ごとの環境設定が必要となる。その一方、学生個人の情報端末の準備については、コロナ禍によるオンライン学修が開始される直前の状況からこれまででは、スマートフォンだけという学生から状況は多種多様で、またプラットフォームもばらばらである。これら既存の環境が丁度機器の更新時期を迎え、今後備えるべき環境との調和をどのように図っていくのかを再検討した。 その結果、デスクトップ環境の仮想化（VDI）の機能は継続しつつも、現状の利用状況に伴い、オンプレミスではなく、マイクロソフト社のクラウド環境（Azure）へ移行することで利便性はそのままに管理工数を削減することができた。 尚、今回の調査・研究にて対象としたのは、まずは初年次教育としてのコンピュータ・情報リテラシー受講者を中心とする学生であるが専門科目等での展開を見据え、順次2年生以降についても拡大することも検討する必要がある。 研究成果については、9月に開催された教育イノベーション大会（いずれも私立大学情報教育学会（JUCE）の）にて発表を行った。